

つながり若者センター通信

2025
10号
1月発行



わたしたち「つながり若者センター」は社会的養護経験者、いわゆるケアリーバーを中心に、頼るべき家庭がなかったり、家族と関係がよくなかったりして、生きづらさを抱えた若者を対象に、生活上の困りごとが少しでも解決したり、緩和されるように寄り添い、その思いを受け止め、時には他の支援機関と協力しながら、生きづらさを抱える若者と共に歩むことを目的としています。

つながり若者センター センター長 中島 円実

コージータウン若者イベント

9月には、普段の居場所活動から飛び出して『つなわかCOZY 2024秋のおでかけイベント』を開催しました。4月にスタッフや参加者の顔ぶれが替わっておよそ半年、居場所活動に対して安心感や愛着が芽生えてきたころ、普段と違う活動でさらに交流を深めてほしい、安心できるメンバーと一緒に活動することで地域の中で活動することへのハードルを下げたい、そんな思いで本イベントは開催されました。

イベント中には、普段と違うメンバーと会話を交わす姿や、普段見せないリーダーシップ、他の人のペースに合わせる気遣いなど、普段見ている姿とは一味違う姿を見ることが出来ました。また、ご協力頂いた方々の話を熱心に聞く姿や、ご協力を頂いたお店にまた行ってみたいという声も印象的です。

若者と一緒に地域に飛び出したことで、若者だけでなくスタッフも地域連携の大事さ、人と人との繋がりのありがたさ、その心強さについて改めて確認することが出来たイベントでした。

本イベントの参加に伴い、ご協力を賜りました皆様に心より御礼申し上げます。

日々の若者の支援について

「就労」「お金の管理」「住居」「トラウマケア」。これは去年度、若者が直面している代表的な課題について、つな若と施設など関係機関の方々で検討した結果です。

仕事を続けていくには、日々のしんどさや困りごとをすぐに相談できる職場環境と、躊躇なく弱みをさらせる強さが必要です。また多様な働き方が選択できる現在、自分が何をしたいのかを見つめる力も要ります。

お金については、一人暮らしの若者は概ね同じかと思いますが、欲しいものをつい無計画に買ってしまったり、友達にごちそうしたり恋人に高いプレゼントをするなど、少し良くないコミュニケーションツールになってしまうことも。そしてお金がないと家賃が払えず、住むところなくなります。

住居には、保証人や緊急連絡先も必要で、頼める人がいないことも…

ケアリーバーに限らない課題ですが、愛着や人との関係性にしんどさを抱える彼らには、より大きな困難になります。逆境体験からの傷つきが、まだまだ癒えない中の船出、トラウマケアも重要になります。

つな若では、そんな彼らに「本人の思いをしっかりと受け止める」「彼らの中にある“よりよく生きたい”気持ちを信じて気長に寄り添う」「具体的な方策と一緒に考える」などの支援をしています。目の前の緊急的に対応しなければいけないこと、長期的に彼らの人生に思いをはせること、いろんな視点で臨機応変に向き合うなか、私たちも励まされ育てられていると感じるこのごろです。

連絡先 つながり若者センター（滋賀県地域養護推進協議会）

▶マザーボード
守山市守山6丁目10-68
TEL:077-582-2221 FAX:077-582-2330

▶コージータウン
彦根市大東町2-28 アル・プラザ彦根4F
TEL:0749-21-6370 FAX:0749-21-6205

活動報告

法テラス勉強会

9月の進捗会議では、支援者向け勉強会「法テラスから見た若者支援」を開催しました。講師として法テラス滋賀の弁護士さまをお招きして、法テラスの概要、業務内容、相談方法、費用など基本的なことから、弁護士による解決事例を教えてくださいました。また多額の債務を抱えて闇バイトに誘われている若者の事例に基づいて、参加者全員で「どのくらいの事態になったら法テラスに相談すべきか」という問いについて考えて、意見交換を行いました。

私たちが支援している若者の多くは家族に頼ることができません。自分だけでは解決し難い問題に直面したときに、誰に相談していいかわからないまま、時間が経っていきます。本人やその関係者から支援機関に相談があった時には、返せる見込みが無いほど多額の債務

を抱えていたり、住む家が無くて今日寝る場所に困っていたりと深刻な状況になっていることが多々あります。「早めの相談が解決への近道」という今回の学びを活かして、これから積極的に法テラスと連携をしていくと同時に、困っている若者たちのSOSのサインを見逃さないように普段の若者との関わりを大事にしていきたいと思えます。



居住支援法人勉強会

11月の進捗会議にて、滋賀県湖南圏域居住支援法人ネットワーク協議会の方々にお越しいただき勉強会をしていただきました。

以前より、施設を退所した若者たちの居住での困りごとはたくさん上がってきており、今年度は滋賀にある居住支援法人さんをまわりお話を伺ってまいりました。

そこで、今回勉強会の講師として居住支援法人の方をお招きし、そもそもの賃貸借契約の結び方から、居住支援法人さんの制度や仕組みなどの基本のお話、相談の流れなどをお話しいただきました。

また、勉強会の後半では、今まで自立支援の先生方が支援する中での困りごとを用いて架空人物の事例を作成し、そこから居住支援法人さんとしてどういった支援をもらえるか、また施設内でどういった支援ができていたらその後の支援につながりやすくなるかなどのお話をいただきました。

架空事例を用いながら話をすることで、施設の自立支援担当の先生方からもたくさん質問などもできて、お答えいただきとても実りのある勉強会を実施することができました。

滋賀県湖南圏域居住支援法人ネットワーク協議会のみなさま、ありがとうございました。



小嶋祭り

9月23日、小嶋まつりに伺ってきました。

お天気に恵まれ残暑の陽差しがまぶしい中、模擬店やバザーなどが催され、オープン前からお客様が行列！退園生やご近所の方々も多く来園されていて、とても活気があり、にぎわっていました。その楽しい雰囲気の中、アフターケア担当の先生から在園中の高校生を紹介いただき、つな若メンバーでご挨拶をさせていただきました。みなさん、照れながらも挨拶を返してくださったり…とても嬉しかったです！

その中のお一人とは、また後日にコージータウンで開催されたお金の勉強会でもお会いでき、「お祭りのときはありがとう」とお声を掛けさせていただきました。インケア中にこうした機会を重ねながら、少しずつ「つな若」というところがあるんだなあと知っていただき今後につながってくれると嬉しいなど願っています。

お世話になった小嶋会のみなさま、ありがとうございました。



守山学園創立記念祭

さわやかな秋晴れとなった10月27日、守山学園創立記念祭2024～愛 今、明日の向こうへ～が開催され、本当にたくさんの方がそれぞれに楽しい一日を過ごしました。

つな若では学園主催ブースで美味しいうどんを作ったり、卒園生主催ブースの雑貨販売店を手伝ったりしながら、大きなステージカーでの発表を楽しく応援させていただきました。

特に印象的だったのは、高校生らがバンド演奏やダンスと次々発表していくのですが、守山学園の職員さんもステージに上がり一緒に発表することを楽しんでおられたことと、発表を終えた高校生と職員さんたちの生き生きとした表情でした。

「今」にも「明日の向こうへ」も広がっていくような「愛」を体現したようなステージはスローガンにもぴったりで感動しました。

施設のアフターケア担当の先生と一緒に、退園後の地域での生活を見守る関係作りのために、今回は創立記念祭に参加し高校生らとも交流することができました。準備運営を進めてくださった守山学園の皆さま、そして当日うどん屋さんと一緒に運営させて頂いた職員さん本当にありがとうございました。

